

# 広島県内中小企業 景況調査結果

## 建設業の景気動向

広島県商工会連合会

平成15年4月～6月期 実績  
平成15年7月～9月期 見通し

### I. 調査要領

#### 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成15年6月5日  
(2) 調査対象期間 平成15年4月～6月期 実績  
平成15年7月～9月期 見通しについて調査した。

#### 2. 調査対象

製造業、建設業については、資本金1億円以下、又は従業員300人以下の企業、小売業、サービス業については、資本金1千万円、又は従業員50人以下の企業を対象とした。

#### 3. 調査方法

原則として、商工会(県内14)、商工会議所の経営指導員及び中小企業団体中央会の情報連絡員が訪問面接し聴き取りによって行った。

#### 4. その他

本報告書中のDIとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で各調査項目についての増加(上昇、好転、長期化)企業割合と減少(低下、悪化、短期化)企業割合の差を示すものである。

## II. 建設業の景気動向

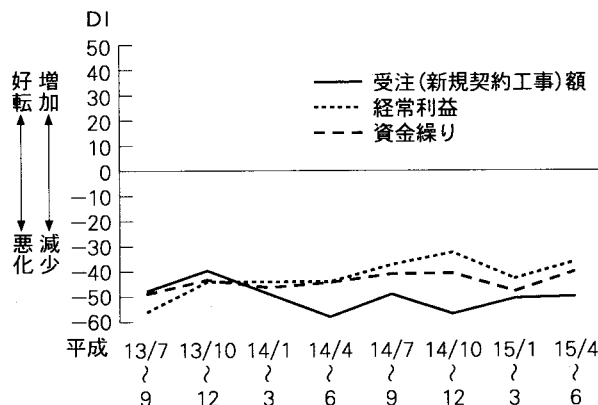
### 1. 概況(前年同期比)

業況はやや好転。

平成15年4月～6月期の業況を概観すると、前年同期と比べた受注(新規契約工事)額、経常利益、資金繰りともやや好転した企業が増加している。

【DI値】受注(新規契約工事)額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示し、依然として、水面下では停滞している。

主要項目の動向(前年同期比)



### 2. 4月～6月期の動向

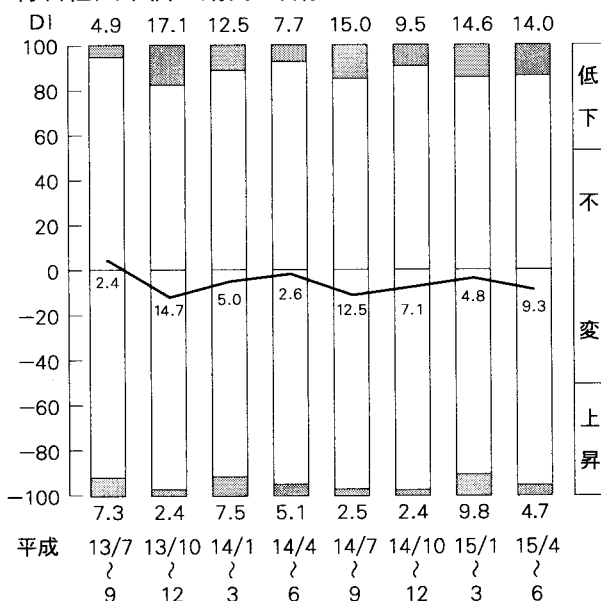
#### (1) 受注(新規契約工事)額はやや増加(前年同期比)

前年同期と比べた今期の受注(新規契約工事)額の増減状況については、増加した企業が9.5%、減少した企業が59.5%となり、DI値はマイナス50.0となり、前年同期比に比べ依然悪化している。

#### (2) 材料仕入単価は増加(前年同期比)

前年同期と比べた今期の材料仕入単価については、上昇した企業4.7%、低下した企業14.0%、不変81.3%となっている。

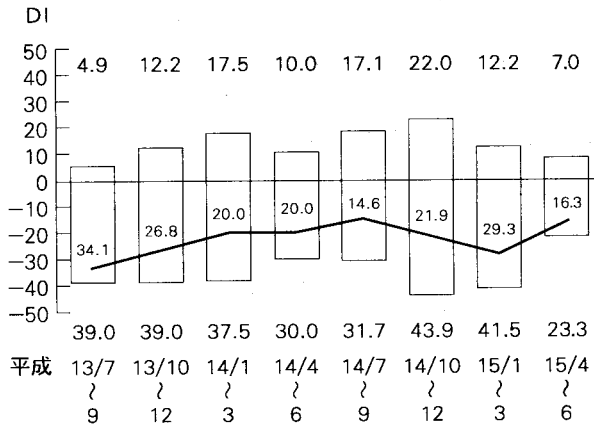
材料仕入単価の動向 折線は「上昇」―「低下」



### (3) 経常利益は増加(今期)

今期の経常利益の状況は、増加7.0%、減少23.3%で、DI値はマイナス16.3となり、前期のDI値マイナス29.3と比較して改善されている。

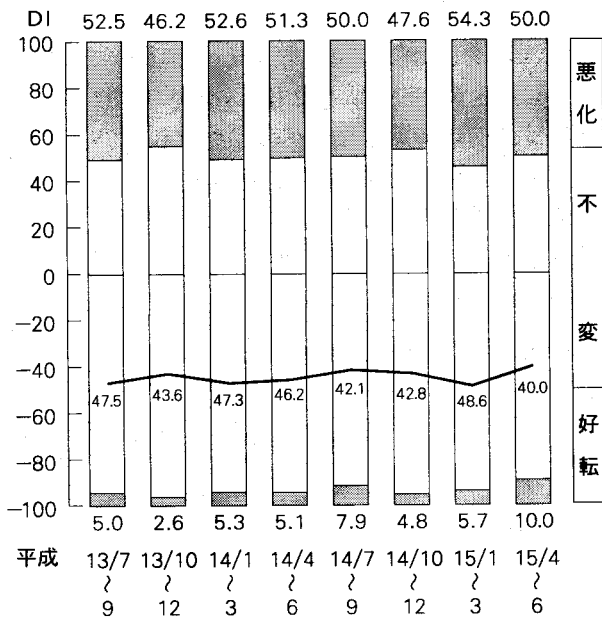
経常利益の水準 折線は「黒字」―「赤字」



### (4) 資金繰りはやや好転(前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業10.0%、悪化した企業50.0%、DI値はマイナス40.0%とマイナスとなっており、前年同期(マイナス46.2)と比べやや改善傾向にある。

資金繰りの動向 折線は「好転」―「悪化」



### 3. 7～9月期の見通し

業況はやや改善

今期と比べた来期の見通しについてみると、受注(新規契約工事)額、資金繰り、経常利益ともに、やや改善傾向を示している。

### 建設業 主要項目の来期の見通し

項目	期	
	4～6月期	7～9月期
売上額		DI
		-46.5
経常利益		DI
		-39.5
資金繰り		DI
		-23.9
業況		DI
		-43.5

### 建設 直面している経営上の問題点

期別順位	1位	2位	3位
平成14年 4～6月期	民間需要の停滞 (32.4%)	官公需要の停滞 (32.4%)	請負単価の低下 (16.2%)
平成14年 7～9月期	官公需要の停滞 (43.6%)	民間需要の停滞 (28.2%)	請負単価の低下 (7.7%)
平成14年 10～12月期	官公需要の停滞 (39.5%)	民間需要の停滞 (23.7%)	請負単価の低下 (18.4%)
平成15年 1～3月期	官公需要の停滞 (41.0%)	民間需要の停滞 (25.6%)	請負単価の低下 (17.9%)
平成15年 4～6月期	官公需要の停滞 (42.9%)	民間需要の停滞 (26.2%)	請負単価の低下・上昇難 (19.0%)

## 広島県内中小企業景況調査結果

# 製造業の景気動向

広島県商工会連合会

平成15年4月～6月期 **実績**  
 平成15年7月～9月期 **見通し**

### Ⅲ. 製造業の景気動向

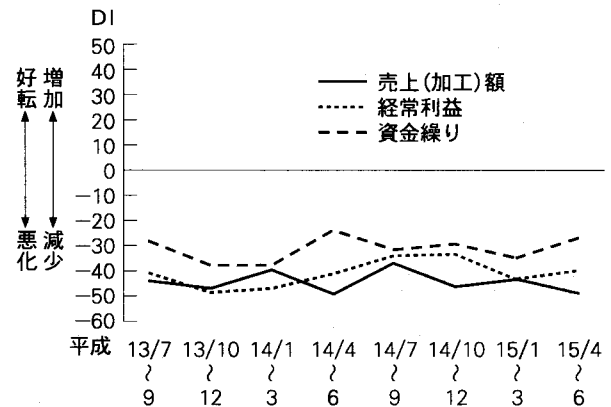
#### 1. 概況(前年同期比)

業況はやや改善。

平成15年4月～6月期の業況を概観すると、前年同期と比べた売上(加工)額、経常利益、資金繰りともに上昇している。全体として、業況はやや改善傾向にある。

【DI値】売上(加工)額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示しており、水面下で停滞している。

主要項目の動向(前年同期比)



#### 2. 4月～6月期の動向

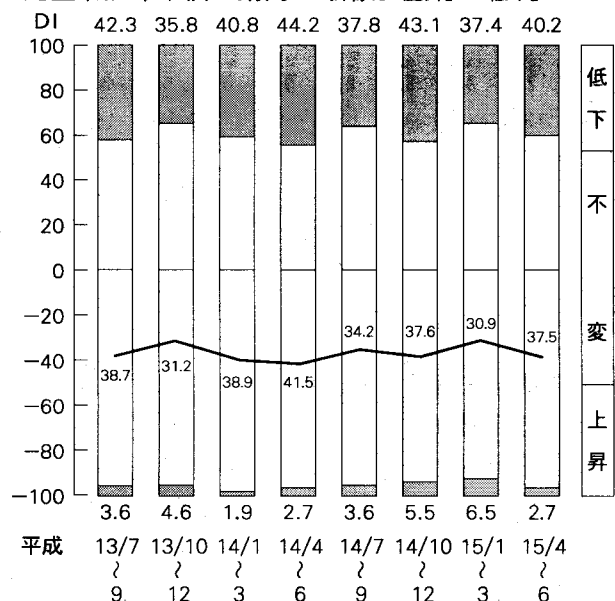
##### (1) 売上(加工)額はやや好転(前年同期比)

前年同期と比べた今期の売上(加工)額の増減状況については、増加した企業が10.7%、減少した企業が58.9%となり、DI値はマイナス48.2%となっている。

##### (2) 売上(加工)単価は増加(前年同期比)

前年同期と比べた今期の売上(加工)単価については、上昇した企業2.7%、低下した企業40.2%、不変57.1%となっている。DI値は4.0ポイント増加している。

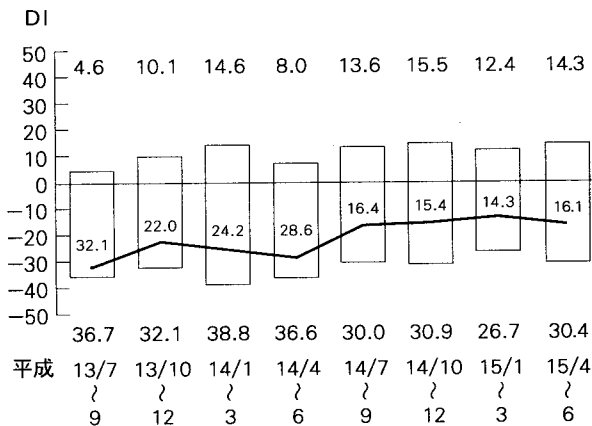
売上(加工)単価の動向 折線は「上昇」―「低下」



### (3) 経常利益は微減(今期)

今期の経常利益の状況は、増加14.3%、減少30.4%で、DI値はマイナス16.1となり、前期のDI値マイナス14.3と比較して1.8ポイント悪化している。

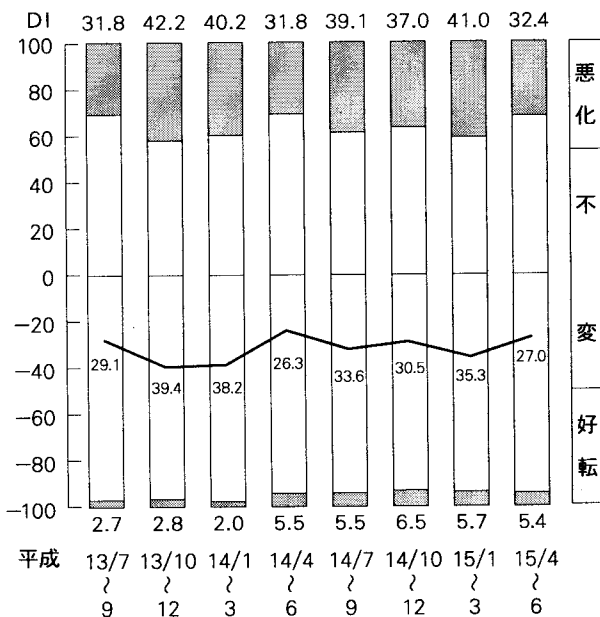
経常利益の水準 折線は「黒字」―「赤字」



### (4) 資金繰りは微減(前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業5.4%、悪化した企業32.4%と低下しており、DI値はマイナス27.0とやや好転傾向にある。

資金繰りの動向 折線は「好転」―「悪化」



### 3. 7月～9月期の見通し

業況改善傾向

今期と比べた来期の見通しについてみると、売上(加工)額は、減少傾向にあるものの、経常利益、資金繰りともに増加傾向にあり、来期の業況はやや好転との判断を示している。

### 製造業 主要項目の来期の見通し

項目	4～6月期	7～9月期
売上額		DI
		-41.6
経常利益		DI
		-32.7
資金繰り		DI
		-27.1
業況		DI
		-33.6

### 製造 直面している経営上の問題点

期別順位	1位	2位	3位
平成14年 4～6月期	需要の停滞 (31.0%)	加工単価の低下 (21.0%)	製品ニーズの変化への対応 (12.0%)
平成14年 7～9月期	需要の停滞 (38.9%)	加工単価の低下 (26.9%)	大企業の進出による競争の激化 (8.3%)
平成14年 10～12月期	需要の停滞 (43.6%)	加工単価の低下 (21.8%)	大企業の進出による競争の激化 (10.9%)
平成15年 1～3月期	需要の停滞 (35.6%)	加工単価の低下 (25.7%)	製品ニーズの変化への対応 大企業の進出による競争の激化 (7.9%)
平成15年 4～6月期	需要の停滞 (44.3%)	加工単価の低下・上昇難 (24.5%)	製品ニーズの変化への対応 (5.7%)

## 広島県内中小企業景況調査結果

# 小売業の景気動向

広島県商工会連合会

平成15年4月～6月期 **実績**  
 平成15年7月～9月期 **見通し**

## IV. 小売業の景気動向

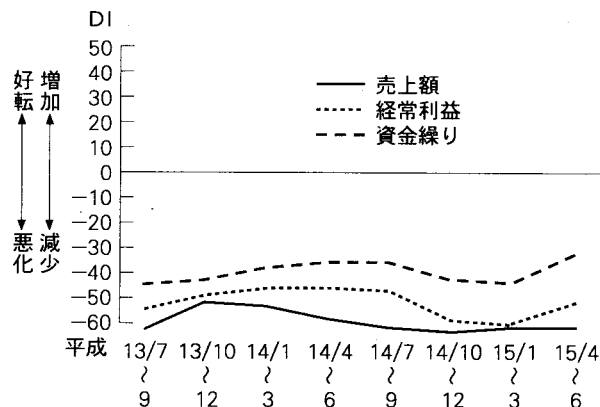
### 1. 概況(前年同期比)

業況は依然停滞。

平成15年4月～6月期の業況を概観すると、前年同期と比べ、資金繰り経常利益はともに好転傾向にあるものの売上額は下降傾向にある。

【DI値】売上額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示しており、水面下で停滞している。

主要項目の動向(前年同期比)



### 2. 4月～6月期の動向

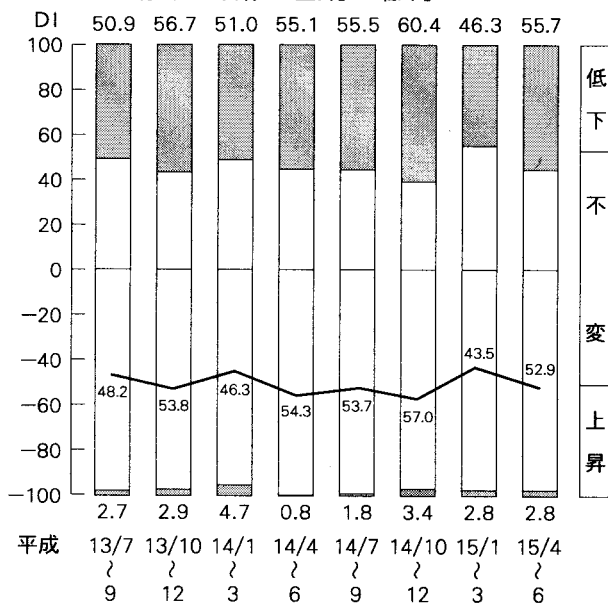
#### (1) 売上額は減少(前年同期比)

前年同期と比べた今期の売上額の増減状況については、増加した企業が5.7%、減少した企業が67.9%、DI値はマイナス62.2となっている。

#### (2) 客単価は微減(前年同期比)

前年同期と比べた今期の客単価については、上昇した企業2.8%、低下した企業55.7%、不変41.5%となっている。

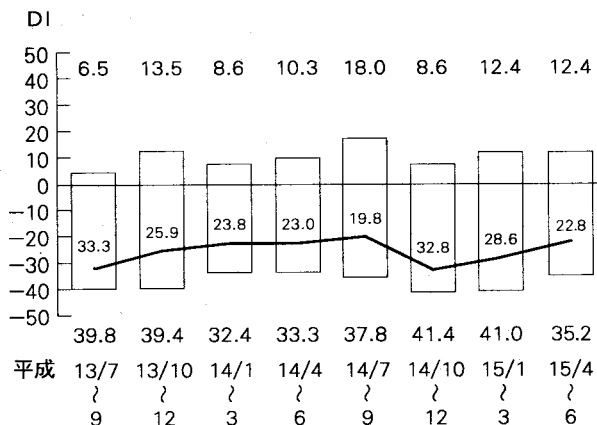
客単価の動向 折線は「上昇」―「低下」



### (3) 経常利益はやや改善(今期)

今期の経常利益の状況は、増加12.4%、減少35.2%で、DI値はマイナス22.8となり、前期のDI値マイナス28.6と比較して5.8ポイント増加しておりやや改善傾向にある。

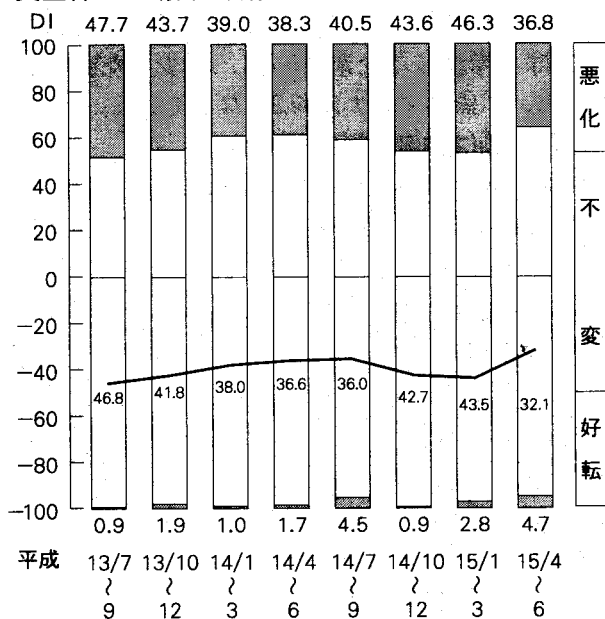
経常利益の水準 折線は「黒字」―「赤字」



### (4) 資金繰りはやや改善(前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業4.7%、悪化した企業36.8%、DI値はマイナス32.1とやや改善傾向にある。

資金繰りの動向 折線は「好転」―「悪化」



### 3. 7月～8月期の見通し

業況はやや改善傾向

今期と比べた来期の見通しについてみると、売上額、経常利益、資金繰りともに、やや改善傾向を示している。

### 小売業 主要項目の来期の見通し

項目	4～6月期	7～9月期
売上額	DI	-50.4
経常利益	DI	-47.5
資金繰り	DI	-33.3
業況	DI	-42.7

### 小売 直面している経営上の問題点

期別順位	1位	2位	3位
平成14年 4～6月期	需要の停滞 (38.3%)	大・中型店の進出による競争の激化 (12.2%)	購買力の他地域への流出 消費者ニーズの変化の対応 販売単価の低下・上昇費 (9.6%)
平成14年 7～9月期	需要の停滞 (34.5%)	大・中型店の進出による競争の激化 (18.2%)	購買力の他地域への流出 (15.5%)
平成14年 10～12月期	需要の停滞 (32.7%)	大・中型店の進出による競争の激化 (22.1%)	購買力の他地域への流出 (18.6%)
平成15年 1～3月期	需要の停滞 (28.4%)	大・中型店の進出による競争の激化 (20.2%)	購買力の他地域への流出 (14.7%)
平成15年 4～6月期	需要の停滞 (26.2%)	購買力の他地域への流出 (18.4%)	大・中型店の進出による競争の激化 (17.5%)

# 広島県内中小企業景況調査結果

## サービス業の景気動向

広島県商工会連合会

平成15年4月～6月期 **実績**  
 平成15年7月～9月期 **見通し**

### V. サービス業の景気動向

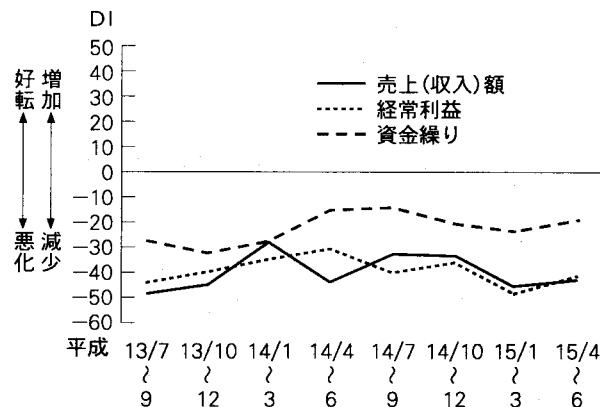
#### 1. 概況(前年同期比)

業況はやや改善。

平成15年4月～6月期の業況を概観すると、前年同期と比べた経常利益は減少傾向にあるものの、売上(収入)額、資金繰りはやや上昇しており、全体としては改善傾向にある。

【DI値】売上(収入)額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示しており、水面下で停滞している。

主要項目の動向(前年同期比)



#### 2. 4月～6月期の動向

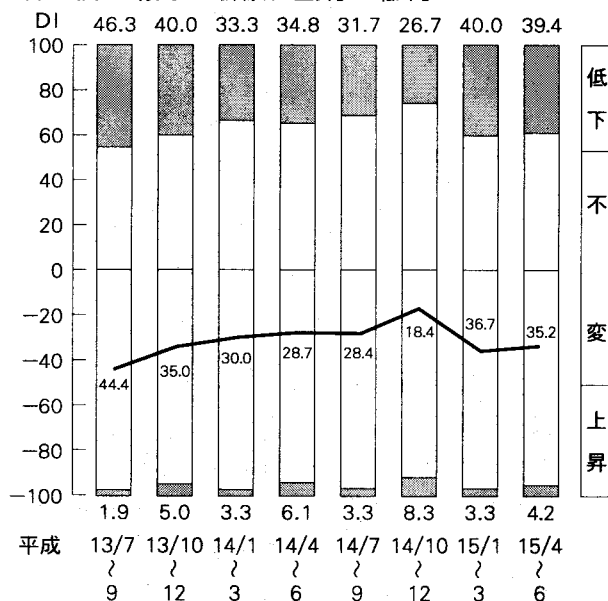
##### (1) 売上(収入)額はやや改善(前年同期比)

前年同期と比べた今期の売上(収入)額の増減状況については、増加した企業が16.7%、減少した企業が59.7%、DI値はマイナス43.0となっており、やや改善傾向にある。

##### (2) 客単価はやや悪化(前年同期比)

前年同期と比べた今期の客単価については、上昇した企業4.2%、低下した企業39.4%、不変56.4%となっており、悪化傾向にある。

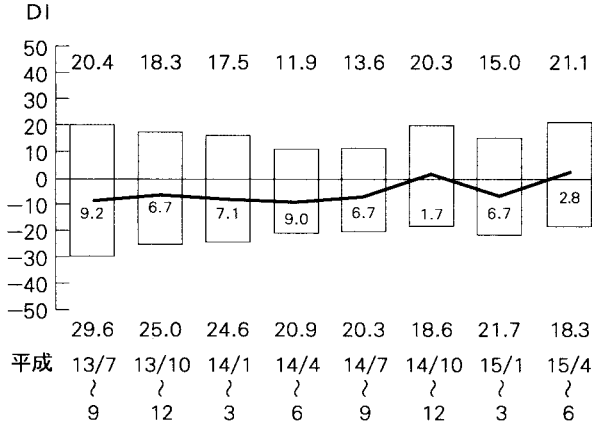
客単価の動向 折線は「上昇」―「低下」



### (3) 経常利益は好転(今期)

今期の経常利益の状況は、増加21.2%、減少18.3%で、DI値はプラス2.8となり、前期のDI値マイナス6.7と比較して9.5ポイント上昇し、今期は好転となった。

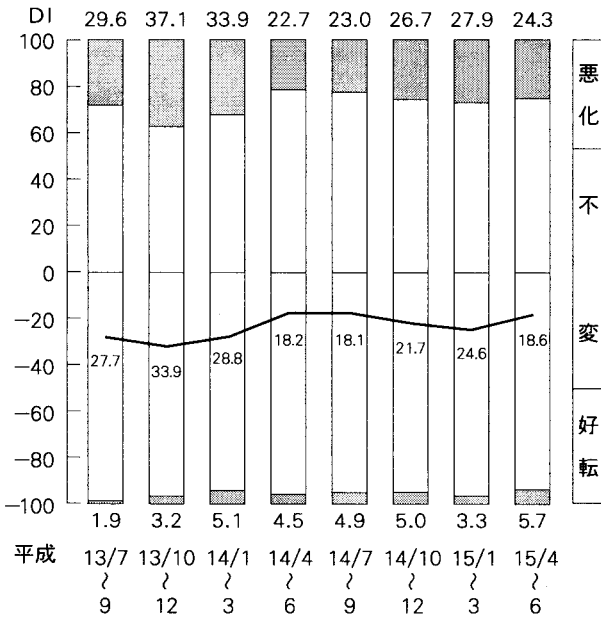
経常利益の水準 折線は「黒字」―「赤字」



### (4) 資金繰りは微減 (前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業5.7%、悪化した企業24.3%、DI値はマイナス18.6とマイナスを示しており、減少傾向にある。

資金繰りの動向 折線は「好転」―「悪化」



### 3. 7月～9月期の見通し

業況は悪化

今期と比べた来期の見通しについてみると、売上額、経常利益、資金繰りとも改善を予想する企業が多いものの、来期の業況は悪化傾向を示している。

### サービス業 主要項目の来期の見通し

項目	4～6月期	7～9月期
売上額		DI
		-30.5
経常利益		DI
		-36.7
資金繰り		DI
		-16.9
業況		DI
		-36.6

### サービス 直面している経営上の問題点

期別順位	1位	2位	3位
平成14年 4～6月期	需要の停滞 (39.7%)	利用者ニーズの変化への対応 (30.2%)	事業資金の借入難 (7.9%)
平成14年 7～9月期	需要の停滞 (33.3%)	利用者ニーズの変化への対応 (24.6%)	店舗施設の狭隘・老朽化 (8.8%)
平成14年 10～12月期	需要の停滞 (42.9%)	利用者ニーズの変化への対応 (23.2%)	店舗施設の狭隘・老朽化 (8.9%)
平成15年 1～3月期	需要の停滞 (46.3%)	利用者ニーズの変化への対応 (20.4%)	店舗施設の狭隘・老朽化 新規参入業者への増加 (7.4%)
平成15年 4～6月期	需要の停滞 (49.2%)	利用者ニーズの変化への対応 (12.3%)	利用料金の低下・上昇難 (9.2%)